

「コーヒー豆かす×森」地域資源循環プロジェクト

～スターバックス・森林組合・大阪府・河内長野市が協定締結～

河内長野市は、スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社、大阪府森林組合及び大阪府と「コーヒー豆かす×森」地域資源循環プロジェクトに関する協定を締結しました。

このプロジェクトは、スターバックス コーヒー 河内長野高向店でコーヒー抽出後に排出される豆かすと大阪府森林組合が産出する木材チップを材料にたい肥を作り、将来的にはこのたい肥を地域の中で活用するという豊かな未来に向けた資源循環の取組みです。

店舗敷地内には、「おおさか河内材」のコンポストが設置され、令和3年（2021年）9月のオープン時から、店舗従業員と大阪府森林組合の職員が共同で、「たい肥の日（毎月第2木曜日）」にコーヒー豆かすと木材チップを混ぜ合わせてたい肥を作ってきました。

また、完成したたい肥でスギとヒノキの苗木を店舗敷地内で育て、今年3月には、島田智明市長、大阪府、大阪府森林組合南河内支店やスターバックスの関係者らが、市内の山林で、このスギやヒノキの苗木を植林しました。

今回、これらの取組みが、河内長野市が進める「資源の循環化」と森林の持つ多面的機能の増進を図る「豊かな森林（もり）づくり」の理念と一致し、本協定の締結に至りました。今後、河内長野市は、本プロジェクトが発展するように応援してまいります。

